企画名	**手賀沼親子自然観察会－手賀沼用水路で魚とり！（我孫子）**
実施団体	団体名　**手賀沼水生生物研究会** 問合せ先　半沢裕子 TEL：　090-7243-6720　　Email：　fukuchang23@yahoo.co.jp ホームページ：　http://suiken.teganuma.org/
目的	手賀沼の水辺の生きものについて、子どもたちや親に知ってもらう。
日時	2020 年 7 月 5 日（日）10:00～12:00　　手賀沼　沼南側ヒドリ橋たもと
プログラム・概要・ルート等	・　鈴木盛智代表から本日の予定、講師の鈴木規慈さん(魚類研究者)から魚のとり方、モンドリやガサガサの説明。 ・　モンドリを仕掛ける　⇒タモ網で魚採り　⇒モンドリを引き上げ　⇒魚の分類。 ・　講師の鈴木規慈さん、森晃さん(魚類研究者)による解説。採れた魚やエビについて、魚の見分け方、外来種(外国産、国内移入種)はどれか、どこから来たのかなど。
参加対象	小学生以下は親子参加
参加人数	一般参加 25 名（大人 11 名、子ども 14 名）会員スタッフ 14 名（会員 12 名、講師 2 名）

(上)3 密を避け、2 卓で実施。(右)採捕時もゆったり

(左)森先生の解説、(中)鈴木先生の解説

参加者や実施団体の感想	・　コロナ自粛明けで野外遊びの人気が高まったのか、25 名の定員は 1 日で満員に。当日までお断りした件数が 100 件弱となった。 ・　九州が大雨で関東も雨予報の中、何とか開始したが、開始 1 時間後の 11 時に降り始めたので、後半駆け足に。何とか予定メニューを終えることができた。 ・　生き物は年々減っている印象だが、今年は特に種数も捕獲数も少ない。魚類は稚魚が多かったが、講師から「今年は全体的に遅れている」との解説があった。 〈確認できた生き物〉 ●在来種……モツゴ、ギンブナ、メダカ、スジエビ、テナガエビ、トンボヤゴ(トンボ科アカネ属の仲間)、イトトンボヤゴ、アジアイトトンボ、アオモンイトトンボ、コガネグモ、●国内移入種…ツチフキ、●国外移入種……タイリクバラタナゴ、カラドジョウ、シナヌマエビ、チュウゴクスジエビ、ミシシッピアカミミガメの卵

企画名	かかし作り・かかし祭り
実施団体	団体名　**NPO 法人手賀沼トラスト** 問合せ先　富澤　崇 TEL： 090-2234-5610　　Email： info@teganuma-trust.jp ホームページ： http://teganuma-trust.jp
目的	生態系保全型の冬水田んぼで、田植え・かかし作り・稲刈りを体験してもらう連続企画の第２弾。かかし作りを通して、自然と共生する米作り・地域作りを身近に感じてもらう。
日時	①　かかし作り　７月１１日(土)、８月１日(土)　8:30～12:00 ②　かかし祭り　８月２２日(土)　8:30～11:30
プログラム・概要・ルート等	・　７月１１日の外部参加者のかかし作りでは、８組２５名の参加者が８体のかかしを作りました。手賀沼トラスト子ども部会の親子が準備・指導にあたり、手際よくかかしが作れました。 ・　８月１日には、手賀沼トラストの子ども部会と大人部会が１６体のかかしを作りました。さっそく田圃に並べ壮観でした。 ・　８月２２日のかかし祭りには、１６名の外部参加者と１２１名のトラスト会員が参加し、投票の結果、外部参加者、子ども部会、大人部会それぞれ２体が選ばれました。後日美味しい新米が贈呈されます。 手賀沼トラスト理事長の遠藤先生から冬水田んぼと生態系についての講義があり、子どもたちも熱心に聞いていました。
参加対象	一般市民、小学生以下は保護者同伴
参加人数	①かかし作り　７月１１日(土)　一般参加：大人９名、子ども１６名　スタッフ：８名 ８月　１日(土)　手賀沼トラスト会員　９８名 ②かかし祭り　一般参加１６名（大人６名、幼児１名、小学生９名） スタッフ８名　会員１２１名（大人８７名、子ども３４名）

今年は優勝するぞ、ね、じいじ。

できた！

生態系のお勉強

トラストアイーン

参加者や実施団体の感想	＊かかしを作ったことがなかったので、面白かった。 ＊かき氷がなかったけど、チューペットが食べられたのでよかった。 ＊親子で参加できて有意義でした。

企画名	**私たちの水はどこからくるの？～考えてみよう、環境にやさしい暮らし方**
実施団体	団体名　**我孫子市石けん利用推進協議会** 問合せ先　我孫子市消費生活センター TEL：　04-7185-1469
目的	・　私たちが使う水は繰り返し使われている事を知り、暮らし方の工夫を考えてみよう。 ・　水に関する疑問や関心を持ち、自分でさらに調べてみよう。 ・　ぷりぷり石けんを作り、自然界で分解しやすい石けんを使おう。
日時	2020 年 7 月 18 日（土）1 回目 13:00～14:15、2 回目 14:45～16:00
プログラム・概要・ルート等	①水の汚れの測り方体験　3 つの水を見て、濁りや臭いなどでどれが「水道水、手賀沼の水、利根川の水」かを予想する。COD パックテストで測ってみてさらに予想する。 ②きれいな頃の手賀沼と汚れてしまった頃の手賀沼　写真やグラフ(パワーポイント) ③水道水はどこから来るの ・私たちの家に水が届けられるまで／排水の行方 ・利根川流域の取水口と排水口（茨城県古河市～銚子市） ④水を汚さない工夫　手賀沼の汚れの原因を見てみよう／生活の工夫 ⑤石けんと合成洗剤の違い　⑥プリプリ石けんづくり　⑦石けんで新型コロナを退治
参加対象	小学 3 年生以上の親子（5 年生以上は単独参加可）
参加人数	一般参加 12 名（大人 6 名、子供 6 名） 会員スタッフ 7 名　（協議会委員 5 名、市職員 2 名）

パックテストで水の汚れを測ろう

利根川の水は、こんなに繰り返し使われている！

水を汚さない工夫を考えよう

プリプリせっけんを作ろう

参加者や実施団体の感想	【参加者の感想】 ・石けんを積極的に使ってみようと思いました。新型コロナにも効果があると知って驚きました。 ・これからお皿の汚れが出たら、必ずいらない布巾でふき取って川の水を汚さない工夫をしたいと思います。合成洗剤をあまり使わないようにしようと思いました。今日は楽しかったです。ありがとうございました。

企画名	冬水田んぼで稲刈りをしよう
実施団体	団体名　**NPO 法人手賀沼トラスト** 問合せ先　富澤　崇 TEL： 090-2234-5610　　Email： info@teganuma-trust.jp ホームページ： http://teganuma-trust.jp
目的	生態系保全型の冬水田んぼで、田植え・かかし作り・稲刈りを体験してもらう連続企画の第３弾。**みんなで田植えをし、かかしに守ってもらったお米を収穫します。**
日時	2020 年 9 月 26 日（土）8:30～11:30
プログラム・概要・ルート等	一般参加者は紫黒米と稀珍黒米を、手賀沼トラストの会員はもち米を刈り取りました。 稲刈りを終えた子供たちは、虫捕り大会に参加。どれだけ多くの種類を捕まえられるかで競いました。3 位まで表彰されました。 200 人を超す参加者で大賑わいでした。
参加対象	一般市民
参加人数	一般参加 80 名（大人 43 名、子ども 37 名）スタッフ 20 名、会員 111 名　計 211 名

稲刈りならまかせとけ！

虫捕り大会

濡れた稲は刈りづらい

ぼくも一人前

参加者や実施団体の感想	総勢２１１名、曇り空の下、大賑わいの稲刈りでした。 子供たちは稲刈り終了後、恒例の虫捕り大会。チームごとに捕まえた種類の多さを競いました。遊ぶだけではなく、田圃をめぐる生き物の勉強もしました。 今年はかき氷のかわりにチューペット。美味しかった。

企画名	手賀沼水辺探検
実施団体	団体名　**我孫子市環境レンジャー** 問合せ先　荻野　茂 TEL:　080-2386-3669　　Email:　ogino-s@rio.odn.ne.jp
目的	３．１１以降、手賀沼に生育するプランクトンや魚貝類、水生植物に触れる学習機会がなくなりました。親水事業は美しい手賀沼にするためにも欠かせないもので、子どもを対象に手賀沼の魚とりの実践を踏まえ、その感動を味わってもらう。
日時	2019 年 9 月 29 日（日）13:00～15:00　手賀沼フィッシングセンター周辺手賀沼
プログラム・概要・ルート等	①　コロナ禍により開催が危ぶまれたが、予防対策を確実に行うことで実施可能と判断。募集定員を例年の 1/2（30 名）とし、3 班に分け、３基のテントを設営、テーブル・水槽・飼育ケース・田舟、講師と世話係（スタッフ）を配置した。また、消耗資材も多く準備、受付もマスク着用、手消毒、検温や体調の確認等を行った。 ②　事前に、漁師さんが網がけして捕獲した魚を各班の田舟に振分け。 ③　開始：広場で、スケジュール・注意事項の説明及び講師 4 名の紹介。 ④　モンドリ（カゴ網）の使い方の指導後、各自のモンドリを手賀沼桟橋付近に設置。 ⑤　各班で、講師から漁師さんが捕獲した魚の説明を受け、魚に触れたり、観察ケースに入れたりして観察した。 ⑥　モンドリを引き上げ、魚を仕分けし、獲った魚を観察し、説明を聞いた。「手賀沼の魚リーフレット」（フォーラム作成）を活用し、魚やエビ類等をチェックした。 ⑦　獲った魚は大切に育てる条件で子どもに渡し、特定外来種を除き沼に戻した。 ⑨確認した種 15 種（**モツゴ、タモロコ、ウグイ、スゴモロコ、ツチフキ、ニゴイ、ギンブナ、ヌマチチブ、タイリクバラタナゴ、オオクチバス、アメリカナマズ、ハクレン、ヨシノボリ、スジエビ、テナガエビ、ミシシッピアカミミガメ**）
参加対象	子供と保護者を含め何方でも
参加人数	一般参加 33 名（13 家族）、スタッフ他 25 名（環境レンジャー7 名、講師 4 名、手賀沼水生生物研究会 10 名、東大大学院永野研究室 4 名）

班毎のテントにテーブル・水槽・飼育ケース・田舟などを接置

モンドリに餌を入れて仕掛ける前に魚が逃げないように点検

船頭さんが捕獲した魚を各班の田舟に入れ、実際に触って観察

ヨシノボリ等のハゼ科の魚は、腹鰭が吸盤状になっていることを観察

参加者や実施団体の感想	・漁師さんから漁具や漁法の説明や 3.11 の放射能の影響の話があり聞き入っていた。 ・初めて手にしたモンドリに興味を覚え、家族ごとに楽しそうに餌を入れていた。 ・子ども達は自分の獲った魚を観察ケースに入れ、熱心に説明を聞いていた。 ・手賀沼では、大型の特定外来種アメリカナマズやミシシッピアカミミガメやハクレンに驚き大騒ぎで観察していた。 ・手賀沼水生生物研究会との協働行事は、関係者の多大な支援があり成功裏に終了した。

企画名	**谷津の秋・昆虫と植物を観察しよう**
実施団体	団体名　**岡発戸・都部の谷津を愛する会** 問合せ先　田島　友昭 TEL・FAX：　04-7188-8778
目的	秋の谷津を巡って、多くの生き物と谷津の自然の豊かさを感じてほしい。
日時	2020 年 11 月 7 日（土）10:00～12:00　谷津作業小屋前集合
プログラム・概要・ルート等	講師：柄澤保彦さん ・　新型コロナ感染予防対策のため、朝、集合時に参加者全員の検温・手の消毒を行い、マスク着用で出発。 ・　早々、桑の木の枝先で**モズ**の早にえを発見、イナゴが枝に刺さっていた。 ・　小さなお子さんが**セスジスズメガ**の幼虫を発見、指先にのせかわいいと皆さんに見せた。 ・　赤い小さな実を多くつけたガマズミの前で「今この赤い実を食べると酸っぱいが、霜が降り、気温が下がると甘くなる」と説明。 ・　中間地点、竹やぶの下で給水休憩。 ・　幼児とお母さんグループは、虫取り網でバッタやトンボを見つけて追っていた。（採集した昆虫は、最後に谷津へ返しました。） ・　後半、ゴルフ場側フェンスの下の数か所で、獣の穴を見つけて、タヌキかイタチ、ウサギの通った穴では、と説明。（夜、ゴルフ場側から谷津に下りてエサを探す）
参加対象	どなたでも（小学生以下は保護者同伴）
参加人数	一般参加　24 名（大人 15 名、幼児 5 名、小学生 4 名） 会員スタッフ　5 名（講師 1 名、会員 4 名）　計 29 名

「ガマの花粉は薬です」

ヘビの死体（ヤマカガシ）を手に説明。
ネズミ・カエルなどの餌が豊富な谷津です。

セスジスズメガを指にのせて！

さあ！とるぞ!!

さあ、捕った。見て！

参加者や実施団体の感想	・　新型コロナ対策のため、集合時に検温・消毒・マスクの着用に協力いただきました。大変息苦しく歩きにくいため、途中で休憩時間を設け、ゆっくり歩きました。参加された皆さんにご協力いただき、無事観察会を終了することができました。 ・　年配の方が「いつも谷津を散歩していますが、これまで目に留めなかった多くの植物や昆虫の話を聞き、楽しい時間でした。次の観察会を楽しみにしています。」と話していました。今回は 3 組が昨年度企画のリピーターでした。

企画名	**手賀沼親子ふれあい探鳥会** **～親子で手賀沼周辺の山野の鳥と水辺の鳥を楽しもう～**
実施団体	団体名　**我孫子野鳥を守る会** 問合せ先　間野　吉幸 TEL：　080-3410-8119　　Email：　mano@sonata.plala.or.jp ホームページ：　http://abikoyacho.org/
目的	◆探鳥の楽しさを知って貰う。 ◆野鳥観察を通し、自然に親しみ、自然を知る。
日時	2020 年 12 月 5 日（土）　9:30～11:30
プログラム・概要・ルート等	1.　コロナ禍の中での催行実施に当たり、事前に検温と手指消毒、全員マスク着用を実施。 2.　コロナ対策のため、例年より時間とコースの短縮し、野鳥カード、塗り絵セット、写真付き野鳥チェックリスト、てがぬまのいきものたち他をファイルケースに入れて事前に渡し、3 密の回避を図った。 3.　募集は我孫子市の広報とチラシにより募集、QR コードを付けたことにより母親よりの申し込みが多かった。 4.　探鳥コースは手賀の丘公園から手賀沼の往復コースで、4班に分け、守る会の会員が鳥の姿や鳴き声を紹介し、スコープで見た野鳥の色彩鮮やかさや小鳥を発見した時の感動を参加者が得ました。 5.　昨年雨天で中止したことで一部の参加予定者よりお叱りを受けました。そのため今年は小雨の中実施しました。雨天にも係わらず参加された皆さんは探鳥を堪能されました。
参加対象	何方でも（小学生以下は保護者同伴）
参加人数	一般参加　21 名（大人 12 名、小学生 6 名、幼児 3 名）スタッフ 10 名　合計 31 名

最初に注意事項等の説明

探鳥風景1

探鳥風景2

最後に鳥合せ

参加者や実施団体の感想	●　参加者は雨中にも係わらず探鳥を楽しんだ模様です。ただ雨に祟られたことが残念だったとのことです。 ●　またこのような探鳥会に参加したいとの声も聞かれました。 ●　実施団体としてコロナ感染対策を事前に工夫して雨天にも係わらず実施できたことはうれしい限りです。会のＨＰ、ＱＲコード活用も募集に威力を発揮しました。